

HiPeR特別セミナー

海洋地殻生産の時空間変動を追う

講師：沖野 郷子 氏

(東京大学大気海洋研究所・教授)

2019年7月24日(水) 16:20~

理学研究科E203講義室

海洋地殻は大陸地殻に比べて均質で世界中どこでも似ていると言われますが、世界の中央海嶺が生み出す海洋地殻は実際には多様な構造を示しています。この多様性は海底拡大速度に依存すると90年代までは考えられてきましたが、現在では、拡大速度に対してマグマがどれくらい供給されるかどうかの比率が規制要因であるというのが共通認識です。ただし、この認識は、世界の中央海嶺軸部での観測に基づくもので、多様性とはすなわち海嶺活動の空間変動でした。ごく最近になって、中央海嶺(年代ゼロ)から両側に広がる深海底(古い)のデータを元に、海嶺活動の時間変動を明らかにしようという試みが盛んになっています。本セミナーでは、海洋地殻生産の時空間変動についてレビューを行ったのち、私たちが計画中の海洋トランスフォーム断層を利用した研究について紹介します。

MOWALL

Moho Observation along transform fault WALLs

海洋トランスフォーム断層の**カベ**に沿って
海洋性地殻生産の時空間**変動**を追う

